

TOSO

80005000



アルミブラインド

スラット15 ミュート

取扱説明書 No.1-200015

初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくためによくお読みいただき、大切に保管してください。

一部製品は取付け方法や操作方法の動画をホームページでご覧いただけます。 <https://www.toso.co.jp>

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	4
■ 製品の取付け/取外し方法	5
■ 内窓への製品の取付け/取外し方法	7
■ 操作方法	9
■ 高さ調整方法	14
■ 振れ止め(オプション)の使用法	14
■ “故障かな”と思ったら	14
■ メンテナンスシール	15
■ ブラインドのお手入れ方法	16
■ 梱包材の処理方法	17
■ 日本ブラインド工業会 チャイルドセーフティー安全上のご注意	18

トソー株式会社

◎お客様相談室 tel. 03-3552-1002

本社 〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-9 ホームページアドレス <https://www.toso.co.jp>

安全上のご注意（必ずお守りください）

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を正しく安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

- 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■ 取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）



警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地を取付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置、取付け方法は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。



■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）



警告

- 子供は思わぬ行動をとります。大人の常識は通用しません。お子様をコードやチェーンで遊ばせないでください。
- コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- 小さなお子様がいるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くに、ソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会



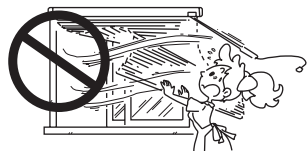
日本ブラインド工業会

- 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



注意

- ❗ 昇降操作は必ず操作コードまたはコードタッセルで行ってください。スラット(はね)やボトムレールを持って昇降操作を行うと、製品の破損や故障の原因になります。
- ❗ 強風の時は、必ず窓を閉めるかスラット(はね)をたたみ上げた状態にしてください。
- 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。

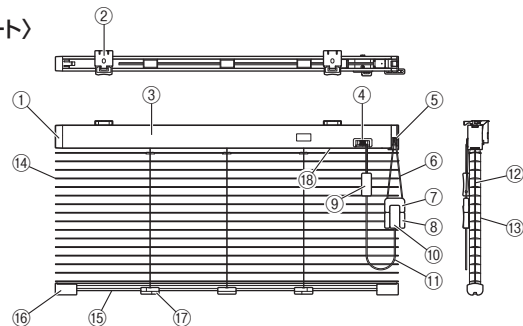


- スラット部(はね部)を不用意に触らないでください。手を切る等のケガをする恐れがあります。
- メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 火のそばでの使用は絶対におやめください。
- ❗ 加湿器は製品から離してご使用ください。製品近くで加湿器を使用しますと、水道水のミネラル成分等が白い粉となり、製品に付着して動作不良等の原因となる場合があります。

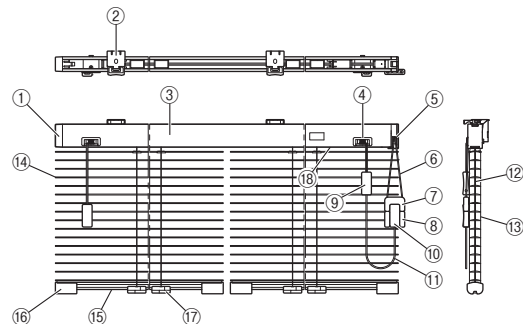


製品全体図及び部品名称

〈スラット15ミュート〉



〈スラット15ミュートセパレート(片側操作)〉



部品名

- ① ヘッドキャップ
- ② ブラケット
- ③ ヘッドボックス
- ④ コードロ(ストッパー)
- ⑤ チルトフーリー
- ⑥ チルトコード
- ⑦ チルトコードセパレーター
- ⑧ チルトタッセル
- ⑨ 操作コードタッセルA
- ⑩ 操作コードタッセルB
- ⑪ 操作コード
- ⑫ 昇降コード
- ⑬ ラダーコード
- ⑭ スラット(はね)
- ⑮ ボトムレール
- ⑯ ボトムキャップ
- ⑰ ボトムカバー
- ⑱ メンテナンスシール

■ 付属部品

部品名	ワンタッチブラケット (天井付け・正面付け用)	クリップブラケット (内窓用)	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)
製品幅 (mm)			
360 ~ 1280	2 個	2 個	2 本
1290 ~ 2000	3 個	3 個	3 本

※ ブラケットは施工方法に応じて①(天井付け・正面付け用)か②(内窓用)のいずれかが同梱されています。

※ ネジ類の取付けは、プラスドライバー(No.2)をご使用ください。

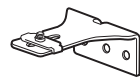
■ オプション部品



カーテンレール取付け金具
(ブラケット固定ネジ1本入)



振れ止め
(取付けネジ2本、プレート1個入)



取付補助金具No.11

■ 製品重量(目安) 3.7kg(幅2000mm 高さ2000mmの場合)

製品の取付け/取外し方法

※内窓へ取付けられる場合はP.7をご覧ください。



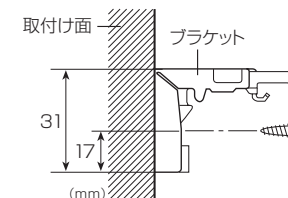
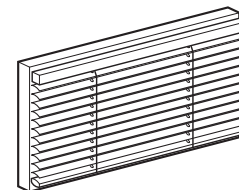
注意



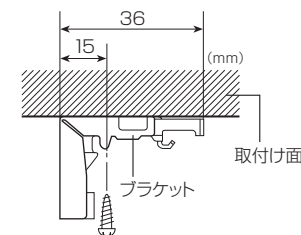
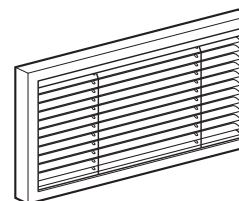
付属部品のネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

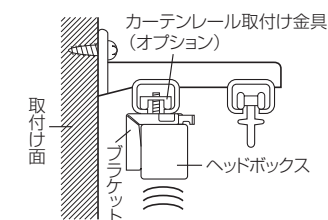
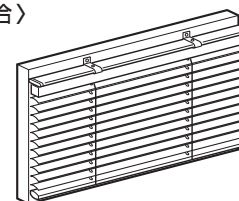
〈正面付けの場合〉



〈天井付けの場合〉



〈カーテンレールに取付ける場合〉



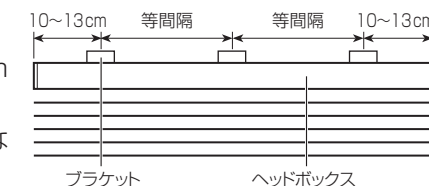
注意



室内側のレールには、取付けられません。

■ ブラケットの取付け位置

- ① ブラケット取付け面が水平であることを確認してください。
- ② ブラケットはヘッドボックスの両端から各10～13cmの位置に取付けてください。
- ③ ブラケットが3個以上の場合はその間が等間隔になるよう取付けてください。



注意



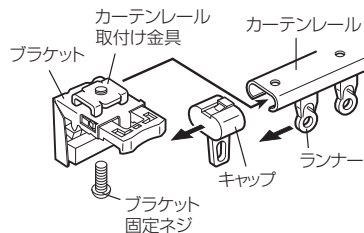
ブラケットの取付け位置を必ずお守りください。製品が故障・落下する恐れがあります。

■ ブラケットの取付け方法

- P.5の「取付けの種類」の図を参考にして、ブラケットを付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

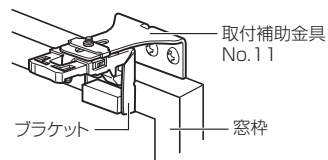
〈カーテンレールへの取付け方法〉

- ① カーテンレールからキャップとランナーを抜いてください。
- ② カーテンレール取付け金具（オプション）をブラケットの上に置きブラケット固定ネジで仮止めてください。
- ③ 仮止めたカーテンレール取付け金具をカーテンレールの溝に入れ、左右のバランスを見てブラケット固定ネジを締めて固定してください。
- ④ カーテンレールにキャップを取付けてください。



〈取付補助金具No.11の使用法〉

- ブラケットを窓枠より正面側に持ち出して取付ける場合や網戸やサッシ枠等が障害となり取付け出来ないときにご使用ください。



■ 本体の取付け方法

- ① ヘッドボックスをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ② ヘッドボックスを奥に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

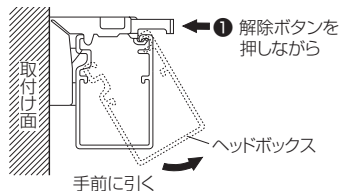


！ 注意

- ① ヘッドボックス取付け後、確実にヘッドボックスがブラケットに固定されていることをご確認ください。取付けが不十分な場合はブラケットの解除ボタンが引込んだ状態になっていますので、再度確実に固定してください。

■ 本体の取外し方法

- ① ブラケットの解除ボタンを押しヘッドボックスを手前に引いてください。
- ② スラット（はね）をたたみ上げた状態で、ヘッドボックスを仮止めフックから外してください。



！ 注意

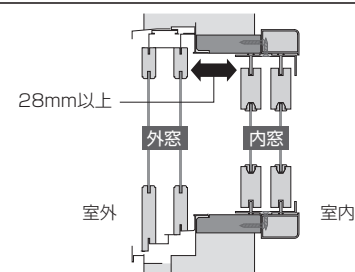
- ① ブラケットからヘッドボックスを取外す際は、必ず手で本体を支えながら作業してください。

内窓への製品の取付け/取外し方法

※ クリップブラケット仕様の場合、内窓と外窓の間に製品の取付けが可能です。

！ 注意

- ① 取付けスペースは、28mm以上必要となります。取付けスペースが確保できない場合、お使いの内窓に付属されるオプション（ふかし枠など）でスペースを確保してください。
- ② クリップブラケットは薄い金属の板でできています。作業中に手を切らない様、ご注意ください。



■ 本体の取付け方

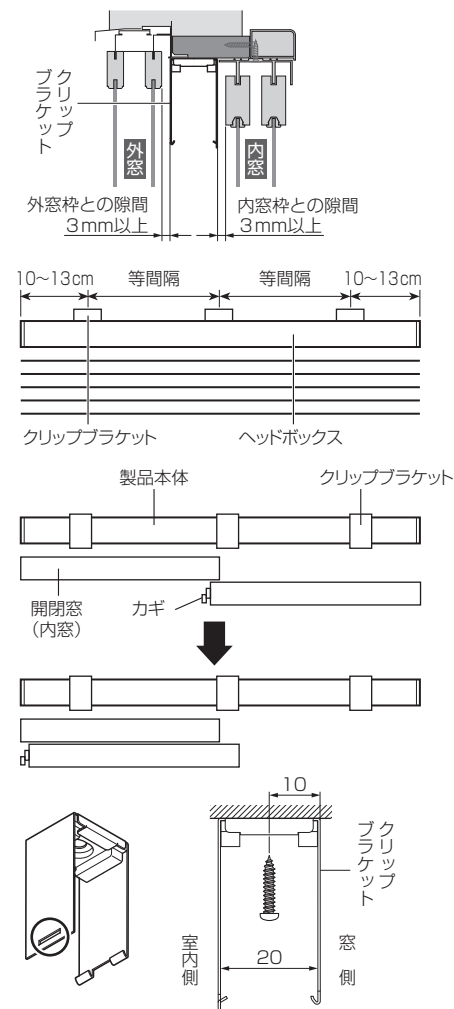
- ① お使いの内窓の開閉窓を取外してください。内窓の取外し方法については、内窓に付属されている取扱説明書をご確認ください。
- ② 側面から見て、内窓側、外窓側それぞれ3mm以上の間隔をあけてクリップブラケットを取付けてください。
- ③ クリップブラケットはヘッドボックスの両端から各10～13cmの位置に取付けてください。クリップブラケットが3個以上の場合はその間が等間隔になるよう取付けてください。

※ クリップブラケットのは、ラダーコードのある位置に取付けできません。

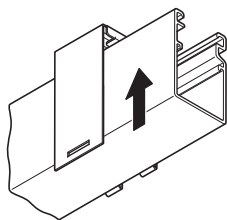
※ 製品幅1290～2000mmのクリップブラケット3個仕様の場合、中央のクリップブラケットは内窓の開閉窓カギが付いている窓側にずらして取付けてください。内窓の開閉窓を開けた時でもクリップブラケットが目立ちません。

- ④ クリップブラケットの長い方（四角穴が空いている方）を前面（室内側）とし、付属の取付けネジで取付けてください。

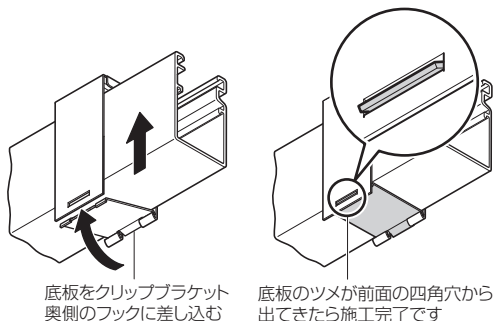
※ 取付けネジは木部用です。



- ⑤ ヘッドボックスを下から押し上げ、クリップブラケットに仮止めしてください。



- ⑥ 底板をクリップブラケット奥側のフックに差し込み、ヘッドボックスを押し上げながら底板を矢印のように持ち上げ底板手前のツメをクリップブラケット前面の四角穴に差し込んでください。



- ⑦ 内窓に付属されている取扱説明書に従い、内窓の開閉窓を取付けてください。

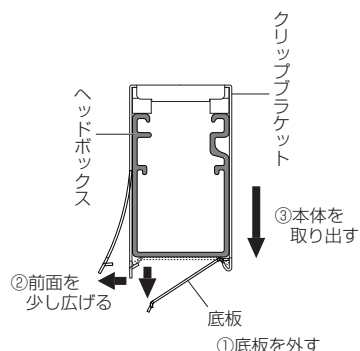
■ 本体の取外し方法

- ① お使いの内窓の開閉窓を取外してください。内窓の取外し方法については、内窓に付属されている取扱説明書をご確認ください。

- ② クリップブラケットから本体を取外してください。

- ① スラット(はね)をたたみ上げた状態でヘッドボックスを押し上げ、クリップブラケットを少し広げ、底板を抜いてください。

- ② クリップブラケット前面を少し広げ、本体をクリップブラケットから外してください。



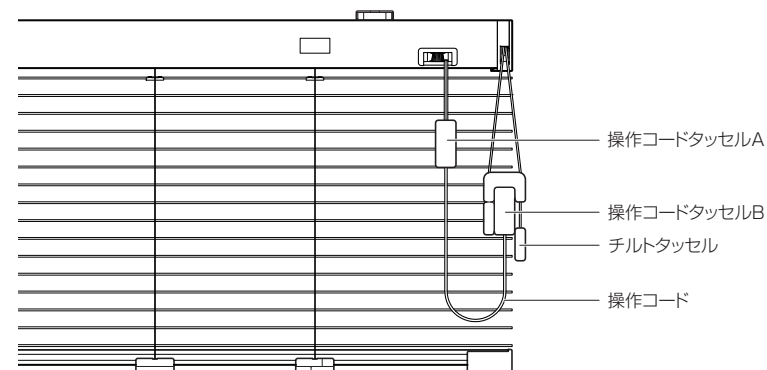
- ③ 内窓に付属されている取扱説明書に従い、内窓の開閉窓を取付けてください。

操作方法

⚠ 注意

- ① 上げ、下げする際はスラット(はね)を水平にした状態で行ってください。スラット(はね)を閉じた状態での上げ下げは、昇降コードの消耗を促進させます。
- ② スラット(はね)を無理に閉じようとししないでください。無理な操作はギアなどの部品を破損する原因となります。
- ③ スラット(はね)を降ろすときは必ず操作コードに手を添えて操作してください。途中で手を離すとスラット(はね)が勢いよく降りることがあり危険です。

〈標準仕様の場合〉



■ ブラインドの降ろし方

- 操作コードタッセルAまたは操作コードを少し下に引くとストッパーが解除され、スラット(ボトムレール)が下がります。途中で止めたい場合は、操作コードタッセルAまたは操作コードを下方方向に引くとストッパーが効き、止まります。

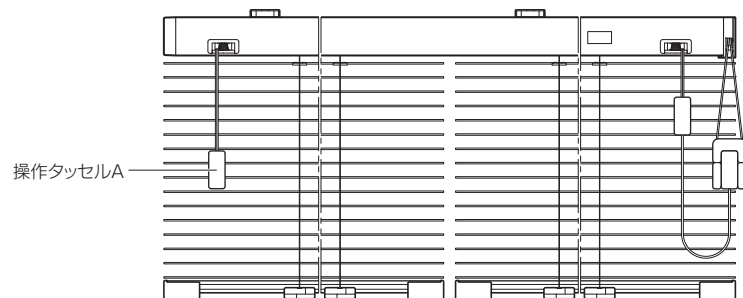
■ ブラインドの上げ方

- ボトムレールが一番下にある場合は、操作コードタッセルAまたは操作コードを下方方向に引き、スラット(ボトムレール)を止めたい位置で手を離してください。
- ボトムレールが途中にある場合は、操作コードタッセルAまたは操作コードを少し下に引き、手を一旦ゆるめてから再び操作コードタッセルAまたは操作コードを下方方向に引き、スラット(ボトムレール)を止めたい位置で手を離してください。

■ スラット(はね)の角度調節

- どちらかのチルトタッセルを下に引くことでスラット(はね)がチルトします。元に戻す時は、もう片方のチルトタッセルを下に引きます。

〈セパレート仕様の場合〉



- セパレート仕様片側チルト操作の場合、非チルト側は操作タッセルAのみの構成となります。操作タッセルAを下方方向に引くことで、スラット(はね)の昇降が可能です。

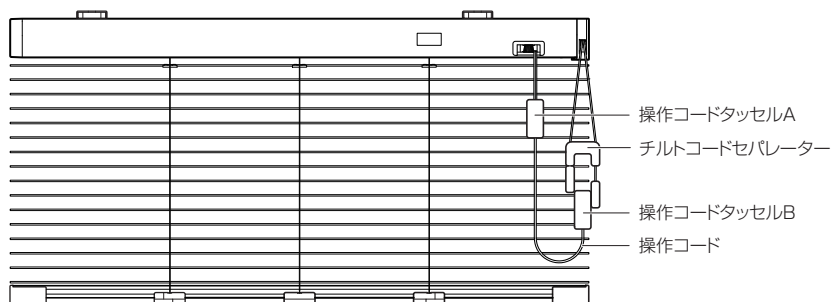
※両側チルト操作の場合はシンメトリーの構成(両側にチルト関連部品がある)となっています。

〈操作コードを長くしたい場合〉

- 操作コードタッセルBはチルトコードセパレーターから取外しできます。
操作コードタッセルBをチルトコードセパレーターから取外すことで、操作コードを長くしてご使用いただけます。

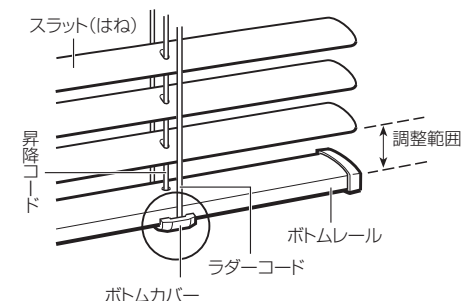
〈操作コードを短くしたい場合〉

- 操作コードタッセルAおよびBを繋いでいる操作コードはハサミなどで切断できます。
この操作コード部分を短くしてご使用いただくことも可能です。

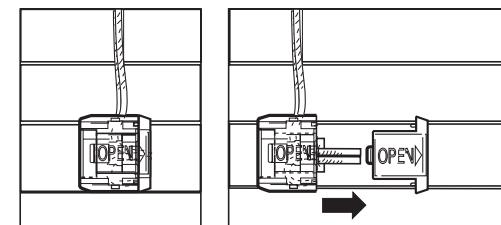


高さ調整方法

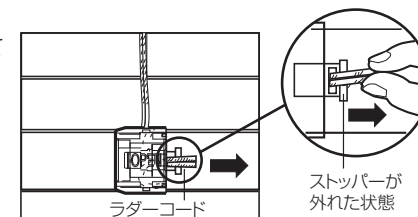
- ブラインドを全て降ろした際、ボトムレールが窓枠等にぶつかる場合、ブラインドの高さを一番下のスラット(はね)の高さまで短くできます。
- 高さ調整はボトムカバー部で行います。
※昇降コードが付いているボトムカバーを全て同様に調整してください。
昇降コードの付いていないボトムカバーは、高さ調整機構のないボトムカバーです。



- ①ボトムカバー面のOPEN▶印を押しながら、→の方向へスライドさせてください。

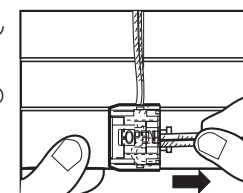


- ②ラダーコードを引っ張るとストッパーが解除されます。

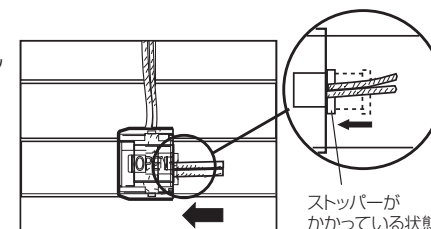


- ③ラダーコードを調整したい長さだけ引き出してください。

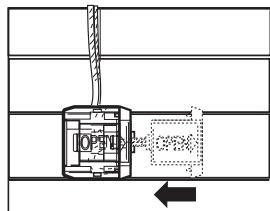
※ラダーコードの約1ピッチ分を短くできます。元の高さに戻すことも可能です。
(長くすることはできません)



- ④「カチッ」と音がするまでストッパーを押し込んでください。

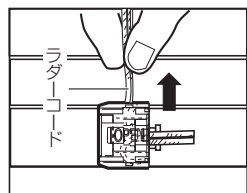


- ⑤ ボトムカバーを元の位置 (OPEN▶と逆方向) へ戻してください。



〈元の高さに戻す方法〉

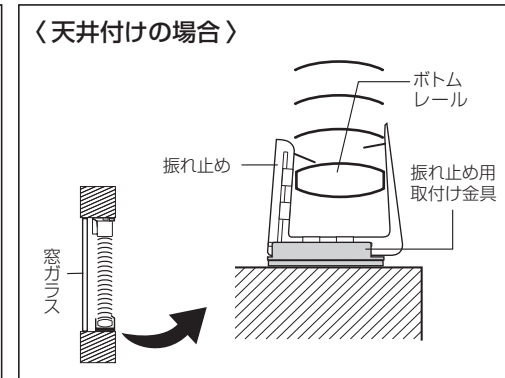
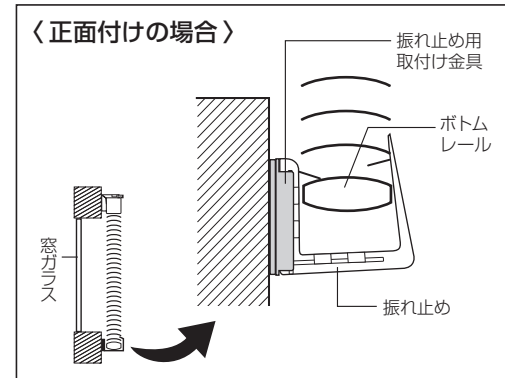
- ストッパーを解除した状態で、ラダーコードを引っ張り出してください。



振れ止め(オプション)の使用方法

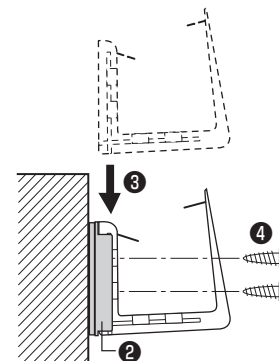
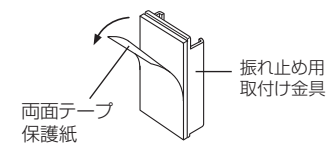
- 窓を開けた時、風によるブラインドの揺れを防ぎます。

■ 取付けの種類

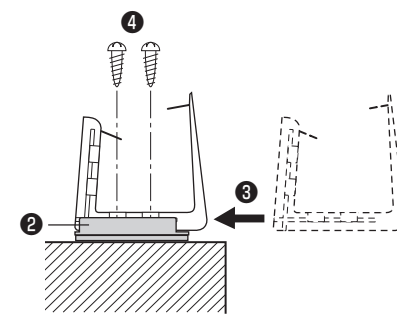


■ 取付け方法

- ① 振れ止め用取付け金具の両面テープ保護紙をはがしてください。
- ② 上の「取付けの種類」を参考にして振れ止め用取付け金具を仮止めしてください。
- ③ 振れ止め用取付け金具に振れ止めをスライドさせて差し込んでください。
- ④ 付属の振れ止め用取付けネジ(ナベφ3.5×20)で取付けてください。
- ⑤ ボトムレールを振れ止めに入れてください。



〈正面付けの場合〉



〈天井付けの場合〉



注意

- ① 昇降操作を行うときは、振れ止めからボトムレールを外して行ってください。

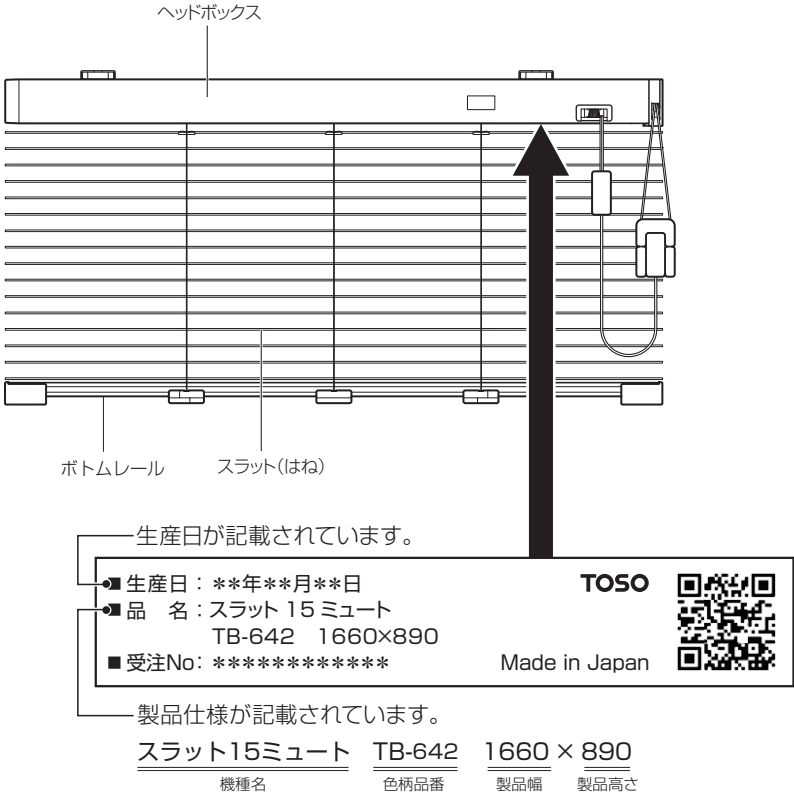
“故障かな”と思ったら

■こんなとき

現 象	原 因	処 置
●ブラインドが斜めになってしまった。	⇒ 昇降コードが均一に保持されていない。	●下降操作を数回行い、ブラインドを水平にしてください。
●ブラインドが止められない。	⇒ ストッパーが機能していない。	●昇降コードを製品外側方向へ角度を付けるように傾けてください。ストッパーが効いて製品が止まります。
●ボトムレールが床や窓枠下面に接触する。	⇒ 窓枠より製品高さが大きい。	●高さ調整をしてください。(P.11参照)
●ブラインドが最後まで降り切らない。	⇒ 昇降コードが絡んでいる、もしくはねじれている。	●一度ブラインドを上げて、昇降コードの絡みやねじれを解消してください。
●たたみ上がったままストッパーが解除できない。	⇒ 昇降コードが強く引かれた状態でストッパーが機能している。	●昇降コードまたはコードタッセルAを持ちながら、その上の昇降コードを1本ずつ引いてストッパーを解除してください。

メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、ヘッドボックス底面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。
- ※シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

ブラインドのお手入れ方法



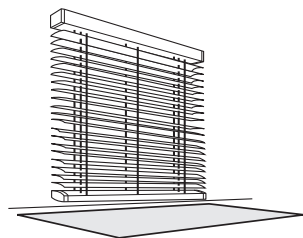
注意

- ❗ 洗剤で使用する場合は台所用合成洗剤を薄めてお使いいただき、その後必ず水拭きしてください。その他の洗剤やシンナーなどは使用しないでください。
- ❗ スラット(はね)の端面は危険ですので、お手入れの際は、軍手等をつけケガをしないように充分ご注意ください。
- 🚫 日頃から羽根ばたきや化学モップ等でこまめにお手入れしてください。長期間油気が付着すると、塗装が剥離することがありますのでご注意ください。

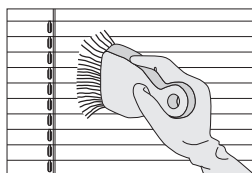
用意するもの

- ビニールシート ●小型ホウキまたはハンディモップ ●ゴム手袋 ●軍手
- バケツ ●台所用合成洗剤(中性) ●ぞうきん

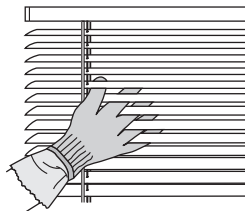
- ① ホコリや液だれにそなえて、ブラインドの下にシートを敷きます。



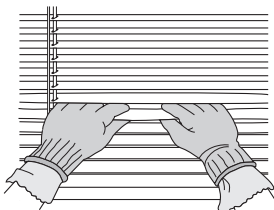
- ② スラット(はね)やコードのホコリをざっと払います。小型ホウキかハンディモップを使います。



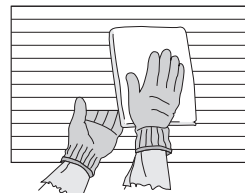
- ③ ゴム手袋の上に軍手を重ねてはめます。バケツに用意した洗剤溶液に浸して、スラット(はね)を数枚ずつ指で挟み、左右にすべらせながら表面と裏面の汚れを拭いていきます。



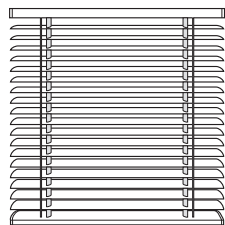
- ④ 汚れの目立つ部分は1枚ずつ拭いてください。



- ⑤ スラット(はね)の裏面に手を当てて洗剤溶液を含ませたぞうきんで拭いてください。



- ⑥ 最後に全体を水拭きしたあと、ブラインドを降ろした状態で自然乾燥させます。



梱包材の処理方法



警告

- 🚫 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

チャイルドセーフティー安全上のご注意

日本ブラインド工業会

- ⚠ 注意** ❶ 子供は思わぬ行動を取ります。大人の常識は通用しません。子供をコードやチェーンで遊ばせないようにご注意ください。

- ⚠ 警告** ❷ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会

- ⚠ 警告** ❸ 小さなお子さまがいるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くにソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会

- ⚠ 警告** ❹ クリップでコードを束ねない場合、コードやチェーンが体に巻きついたり引っかかり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

- ⚠ 警告** ❺ ボトムコードを外さない場合、子どもが引っかかり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

- ⚠ 注意** ❻ 取扱説明書には、重要な事項が記載されておりますので大切に保管してください。

■ 事故が起きたり、危険を感じたら製造メーカーにご連絡ください。事故の再発防止や安全性向上のため情報提供をお願いします。

■ セーフティジョイントやクリップをご使用になっても、事故が完全に回避されるわけではありません。コードやチェーンの危険性を十分に認識したうえでご使用をお願いします。